

麻生副総理兼財務大臣兼金融担当大臣 来賓挨拶(仮訳)

保険フォーラム

2019年6月5日(水)

於:東京

G20のプライオリティ

本年、日本はG20の議長国を務めており、①世界経済のリスクと課題、②成長力強化のための具体的取組、③技術革新・グローバル化がもたらす経済社会の構造変化への対応、の3つのテーマに焦点を当てて議論を行っています。

この中には、

- ・ 高齢化の課題・政策対応
- ・ 質の高いインフラ投資
- ・ 自然災害に対する強靱性の強化

といった政策のプライオリティが含まれますが、これらは保険業界にとっても関心の高い分野と考えています。

本フォーラムへの期待

本日のイベントは、日本の保険業界と国際保険協会連盟が、こうしたG20のプライオリティに関連付ける形でアジェンダを設定し、国内だけでなく海外からも多数の関係者を集め、保険業界の役割について議論を行うものと承知しています。こうしたイニシアティブを歓迎します。

この機会に、保険セクターが、世界の抱える諸課題にどのように向き合おうとしているのかについて、認識を深めることができると考えています。これらはG20及び保険セクターの双方にとって重要な問題です。

- ① まず、高齢化社会への対応は、先進国だけでなく、途上国・新興国を含めた全世界共通の課題です。例えば、世界の60

歳以上の人口のうち、70%以上が G20 諸国にいるといわれています。また、国連の統計によれば、世界の 60 歳以上の人口は 2050 年には 20 億人を超え、そのうちの 80%が低中所得国に集中すると推計されています。高齢化社会のリスクや課題をビジネス機会に変え、社会がリスクや課題を克服できるよう貢献するために、保険会社ではどのような取組みができるでしょうか。

- ② インフラの整備は、成長、雇用創出、生産性の向上にとって重要ですが、インフラの需給ギャップは依然として大きいままです。長期資金を運用する機関投資家として、保険会社が質の高いインフラに投資していくために、どのような課題があり、どのような対応が考えられるでしょうか。また、官民で協力する方策について、各国の事例から互いに学び合うことはできないでしょうか。
- ③ 世界各地で自然災害による被害が増加しています。災害に対する強靭性を一層強化する上で、保険会社からどのような貢献が考えられるでしょうか。

結 語

本フォーラムを通じて、世界全体で取り組むべき諸課題に対して新たな示唆が生まれ、関係者間の連携が深まればと考えています。

本日の活発かつ建設的な議論を期待しています。ご清聴ありがとうございました。

(以 上)